

Design for Grieving, Memorial, and KIZUNA

広げよう復興の想い

深めよう活動の絆

未来のために

3.11 東日本大震災から4年が経過しようとしている今、天災の脅威を風化させることなく、復興への想いを再確認するため、想いの絆を深めるため、そして、その想いと絆を未来へ繋げるため、建築とアートの分野からアプローチします。

2015年

2月2日(月) - 2月20日(金) *会期中無休(10:00 - 17:00)

・作品展示会場 : クィーンズランド工科大学 
ガーデنز・ポイント・キャンパス デザイン学部 (Map D)
2 George Street, Brisbane, QLD 4000 Australia
【入場無料】

・シンポジウム 「自然災害で得た教訓から、オーストラリアと日本の未来を共に考える」

日本が学び培った知識や、再評価されている日本の高い建築技術、建築家や芸術家による復興支援などについて触れ、万一、オーストラリアで天災が発生した場合、日本はどのような支援ができるのか、また、オーストラリアでは水害や風害などに対してどのような対策や取組みが為されているのか、有益な内容を共有するために、日本人パネリスト3名に加えて、QUTとUQの専門家にも登壇して頂き「オーストラリアと日本の未来に、そして、子供達に何を遺すのか」を共に考える。

日時 : 2月6日(金) 18:00 - (17:00 開場)

パネリスト

- ・ 梶橋 修 (神戸大学大学院 工学研究科建築学専攻 - 准教授)
- ・ 坂口 潤 (Jun Sakaguchi Architect - シドニー在住 建築家)
- ・ 嘉住 直実 (シアトル大学 芸術学部 - 教授)
- ・ ポール・サンダース (クィーンズランド工科大学 デザイン学部 - 学部長・教授)
- ・ アンドリュー・ウィルソン (クィーンズランド大学 建築学部 - 講師)
- ・ マーカス・マホーランド (ブリスベン市役所 シティプランニング部)
- 【Introduction】 鈴木 幸 (グリフィス大学 環境デザイン学科)

会場 : デザイン学部 [メインレクチャーシアター]

定員 : 230名

参加費 : \$30.00 (前売 \$20.00)

問合せ : info@artforbrightfuture.com

参加申込 : <http://www.artforbrightfuture.com>



Map

会場の駐車場(QUT内)をご利用いただけます。《有料》





「失われた街 模型復元プロジェクト」(2014 年度グッドデザイン賞受賞) - 出展作品 -

- ・ 記憶の模型：南三陸町(志津川)
- ・ パネル展示
- ・ 被災地の映像配信



梶橋 修 [Osamu TSUKIHASHI] 建築家、神戸大学大学院 工学研究科建築学専攻 - 准教授、工博 - Profile -

1968 年 富山県生まれ。京都大学卒業、東京大学大学院博士課程単位取得後退学。
2002 年 ティーハウス建築設計事務所設立。2003 年東北工業大学建築学科講師。
2009 年より現職。建築設計、アーバンデザインの他、『建築ノート』誌など、メディア制作にも携わる。
2009 年 日本建築学会賞(教育)共同受賞。
2014 年、「失われた街」模型復元プロジェクトで第40回放送文化基金賞、2014 年度グッドデザイン賞受賞。



「Emergency Shelter Exhibition」

- 出展作品 -

- ・ Emergency Shelter designed by Conrad Gargett
- ・ Emergency Shelter Modulo designed by Jackson Teece



坂口 潤 [Jun SAKAGUCHI] Jun Sakaguchi Architect - シドニー在住 建築家 - Profile -

ロンドン生まれ。東京・広島・大阪にて暮らした後、2001年にオーストラリアのシドニーに移住し、PTW アーキテツでの11年に渡るキャリアをスタートさせる。その間、オーストラリア・日本・中国・台湾・シンガポール・ベトナム・ミャンマー・中東における様々な計画を手がけ、ニューサウスウェールズ大学、シドニー大学、相山女学園大学にて講師・審査員などを歴任する。また、豊富な経験と幅広いネットワークを生かし、様々なプロジェクトにも参加。
シドニー、ブリスベン、メルボルンの三大都市にて開催された「Emergency Shelter Exhibition」では、発起人 兼 主催者代表を務める。



「Installation Art for Tohoku by Naomi Kasumi」

- 出展作品 -

- ・ KAMAISHI Typographic Bench Installation
- ・ Requiem 3.11
- ・ Art for Tsunami victims



嘉住 直実 [Naomi KASUMI] シアトル大学 芸術学部デジタルデザイン学科 - 教授 - Profile -

インスタレーションアーティスト&グラフィックデザイナー。京都生まれ、佛教大学社会福祉学部卒業後、プロスキー実業団所属、'95年に渡米。オレゴン大学芸術修士号取得後、シアトル大学芸術学部就任。寺院や屋内外での追悼の空間アートの研究制作を中心に、芸術を通じて東北の復興活動に参加。現在シアトルを拠点として国際的に個展やグループ展を行い活躍中。



主催 : Art for bright future  (<http://www.artforbrightfuture.com>) / キーンズランド工科大学 

後援 : 在ブリスベン日本国総領事館  / The Japan Foundation, Sydney 

特別協力: 株式会社NHKエンタープライズ  / リアス・アーク美術館  / CONRAD GARGETT ARCHITECTURE  / JACKSON TEECE 

協力 : キーンズランド日本商工会議所  / キーンズランド州豪日協会 

ブリスベン日本商工会議所  / ブリスベン日本クラブ 

ゴールドコースト日本商工会議所  / ゴールドコースト日本人会  / グリフィス大学 

協賛 : 積水ハウス オーストラリア  / GEOMODELS & DESIGN 

関連イベント(同時開催)

■ 国際交流基金 海外巡回展

「How Did Architects Respond Immediately after 3/11 (The Great East Japan Earthquake)?」

会場: キーンズランド工科大学  ガーデنز・ポイント・キャンパス デザイン学部